

한통련 뉴스레터

제20호

発行:在日韓国民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

새해인사 新年挨拶

在日韓国民主統一連合 委員長 宋世一 (ソン・セイル)



韓統連の会員の皆さん、
ニュースレターの読者の皆さん!
새해 복 많이 받으세요.
(セヘ ポン マーニ パ
ドゥセヨ. 韓国語で「新年に
福をたくさん受け取ってくだ
さい」という新年のあいさつ
です)

新年あけましておめでとうございます。

昨年コロナパンデミックという厳しい状況のなかでも、わたしたちは情勢を正しく分析したうえで、的確な運動を展開し、様々な成果をあげることができたと自負できます。一番の成果は、ドキュメンタリー映画「私はチョンソンスラムです」の上映会を全国各地で開催し、大成功を収めたことです。映画を見た多くの観客から感動の声が寄せられています。さらには、出入国が厳しい状況のなかで、国内上映会のキャンペーンに、映画に登場するわたしたちの仲間が参加し、上映会の成功に寄与するとともに、連帯を強め組織の位相を高めました。特に、上映会やキャンペーンを通じて「在日同胞は、分断を克服し祖国統一を実現する過程に積極的に参与し、主体者として統一を実現することで、自らの解放を勝ちとることができる」という真理とともに、その実践の重要性と必要性を決定的に広めました。大統領選挙に向けては、「大統領選挙を考える会」を全国各地で開催し、選挙リーフレットも活用しながら、選挙を広報し登録を奨励し、情勢講演を通じて大統領選挙をどうとらえるのかを分かりやすく解説しました。12・26全国代表者決意集会では「考える会」開催の成果を集約しながら、大統領選挙にあたり、わたしたちの要求を「積弊清算貫徹、国家保安法廃止、平和・統一促進」と整理し明らかにしました。映画上映会と「考える会」は引き続き開催

する予定です。多くの方々の参加をお願いします。また、韓米合同軍事演習の中止と国家保安法の廃止を求めるキャンペーンを全国で展開しました。7・4全国代表者会議と光復節76周年記念地方集会を開催し、その間、プラカードアピールを集中的に展開、国内の運動と連携、連帯しました。7・4会議、光復節集会、12・26集会はいくつかの国内メディアで紹介され、わたしたちの運動と主張を国内に向けてアピールできました。韓統連ニュースレターの内容を充実させ、ホームページもリニューアル後はコンテンツの更新と普及に努めました。ニュースレター、ホームページともに好評です。

2022年は大統領選挙があり次期新政権の誕生を迎える重要な年です。1700万のキャンドルは歴代の軍事独裁政権、守旧保守政権による積弊を清算することを求めました。しかし、キャンドル革命を背景に誕生した文在寅政権による積弊清算はまだ道半ばです。積弊清算を貫徹しキャンドル革命の民意に応える次期政権を誕生させなければなりません。民主と統一を弾圧する国家保安法は即刻廃止されなければなりません。統一を進めるうえで国家保安法は最大の障害物です。同法の廃止に加えて、良心囚の即時釈放、韓統連に対する「反国家団体」規定の解除も至急の課題です。国家保安法を廃止するよう次期政権に強く求めます。残念ながら現在、南北合意は進展せず南北関係は停滞しています。南北関係が進展しないのは米国の干渉と韓国政府が韓米共助を重視するためです。民族共助・民族自主の精神を発揮し、南北合意を実践することで、平和・統一を実現へと進めなければなりません。

わたしたちの目標は自主・民主・統一の実現であり、そのためには対外的には自主を発揮し対内的には民主を徹底する自主的民主政府を近い将来、必ず韓国に樹立することを展望しています。その発展過

程のなかで、次期政権は決して守旧保守政権へと逆戻りするものではなく、より自主的民主政府へと近づいていくものでなければなりません。当然、進歩勢力のいわゆる進歩大連合の構築は、今回の大統領選挙にとどまらない継続した重要な課題です。

2022年大統領選挙で、わたしたちは在外国民がかちとった参政権をしっかりと行使することで、積弊清算を貫徹し、国家保安法を廃止し、平和・統

一政策を促進する政権が必ず誕生するよう、全力を尽くします。そして、わたしたちは新政権のもとで、自主・民主・統一を画期的に進展させ、自主的民主政府の樹立とさらには連邦制統一の実現へと続く大道を、先頭に立って堂々と進む決意です。

皆さんにとって2022年が希望に満ちた一年となるよう願っています。

在日韓国青年同盟 中央本部委員長 韓成祐 (ハン・ソンウ)



새해 축하드립니다 (セヘチュッカトゥリムニダ 新年おめでとうございます)。本年も自主・民主・統一運動の先鋒隊として、青年らしく堂々と活動していく決意です。

昨年は2020年から続く新型コロナウイルスの影響で、思ったように韓青活動が出来ない日々が続きました。しかしそのような中においても同胞青年と直接出会い、語らうことで活動の意義を深めてきました。今年2022年においては、現代を生きる青年世代の悩みや葛藤に寄り添い共に闘う組織と運動に生まれ変わるべく、より同胞青年と密接に触れ合う活動を展開していきたいと考えています。

国内情勢は大統領選挙一色になっており、社会各所で噴出しているあらゆる問題が「選挙で誰を選ぶのか」に収束しています。特に青年世代が抱えている課題として住宅と雇用の問題が大きな比重を占めており、「より良い暮らし」を求める権利闘争というよりは「生きることが出来ない！」という生存闘争の様相を呈しています。科学技術の発達により人

間社会はより快適に便利になったはずですが、肥大化しすぎた資本主義構造によって貧富の差どころではない階級差が生まれているのが現状です。また祖国・民族の分断を固定化する駐韓米軍・国家保安法などの分断イデオロギーによって支配されており、それによって生じる様々な矛盾が社会の分裂を加速化させています。こういった現状に国内の青年たちは立ち上がり、次期大統領に青年世代の課題解決を約束させることを目的とした運動団体も発足されています。

こういった状況・課題は在日同胞青年においても大きく変わることはないと思います。韓青が培ってきた60年の歴史を継承し、現代を生きる同胞青年のための組織と運動に生まれ変わることが切迫した課題として求められています。今後より大きな運動的課題に取り組んでいくために、幹部が固く団結して同胞青年に直接会いに行き青年から発せられる悩みや苦しみに向き合い、共に闘う青年運動団体になっていくことを今年は集中的に取り組んでいきたいと考えています。新年に際して多くの先生・先輩・支援者の方々のご期待に沿えるよう邁進してまいります。本年もよろしくお願いいたします。

在日韓国人学生協議会 会長 高来鳥 (コ・レオ)



새해 복 많이 받으세요 (セヘポンマーニパドゥセヨ あけましておめでとうございます)

2018年の板門店宣言と9月ピョンヤン共同宣言以降、南北関係は進展がなく、こう着状態にありました。昨年は韓国政府が終戦宣言を提案しましたが、祖国の平和統一にむけて、私たちのさらなる努力が必要となるでしょう。

そうした中、31期学生協は板門店宣言と9月ピョンヤン共同宣言の実践と歴史学習会の開催、組織強化を目標に活動してまいりました。昨年は新型

コロナウイルスの感染状況に応じて、対面での学習会とリモート学習会を併用して行いました。また、新規学生確保に向けて青年学生と出会い、交流することで組織拡大に向けて取り組んでいきました。

今後は、祖国の自主的平和統一のために板門店宣言や9月ピョンヤン宣言の履行に向けて、国内外での様々な活動に主体的に参加しながら、朝鮮戦争の終結・祖国統一に貢献していきます。在日同胞学生の「民族的な生き方」により一層貢献できるよう、青年学生団体をはじめ各団体との共同の取り組みに、積極的に参加していくことで交流を深め、結びつきをより広げていきます。さらに、一人でも多くの青年学生と出会い、新規学生を獲得し、組織強化につなげていきます。

よろしくお願いいたします。

●大統領選挙動向 尹候補、支持率急落 国民の力、選対が解散…関心は安候補との一本化へ



熾烈な選挙戦を展開する大統領候補たち。左から李在明候補、尹錫悦候補、沈相奭候補、安哲秀候補

各世論調査会社が年末年始に発表した今年3月の大統領選候補の支持率は、与党「共に民主党」の李在明候補が上昇傾向、第一野党「国民の力」の尹錫悦候補が下降傾向をおおむね示した。李氏は1カ月前に比べ3～5ポイント程度上昇しながら40%前後の状況にある一方で、尹氏は2桁に近い下落幅を記録、両候補の差が10ポイント程度まで広がった。また野党「国民の党」の安哲秀候補の支持率は一部の調査では2桁台を記録するなど、明確な上昇の勢いを示した。

李氏の支持率上昇は、同候補の政策が着実に浸透するとともに、国民との対話を熱心に実践していること、党内予備選挙を争った李洛淵元首相を選挙対策委員会に迎え入れ選挙体制を強化したことなどが、理由としてあげられる。一方、国民の力は昨年12月6日、選挙巧者・金鍾仁氏を総括選挙対策委員長に据えて、尹氏の言動を国民情緒に合わせて管理する体制を固めようとした。しかし、尹氏の失言は止まらず、加えて妻の経歴詐称問題、尹氏の側近である趙修眞党最高委員と李俊錫党代表の対立による内紛などが影響して、支持率が下落したと指摘される。

こうしたなか、尹氏は1月5日、記者会見を開き、大統領選に向けた選挙体制の立て直しとして、選挙対策委員会を解散し選挙対策本部として改編すると表明した。尹氏は会見で「今までやってきたこととは違う姿でやり直す」と表明。「選挙対策委員会と国民の党をしっかりと引っ張り、国民に安心感を与えなければならなかったが、そうできなかった」とし、「すべてがわたしの責任」と述べた。同党は翌6日、最高委員会を開き、選挙対策本部の本部長を兼任する新たな事務総長に、党の重鎮で元駐中国大使の権寧世国会議員を任命。また同日の非公開議員総会では、一部幹部が李氏に党代表としての責任を問う辞任決議を提案した。こうした党内情勢を反映して尹氏と李氏は劇的に和解した。

国民の力の内紛が「一段落」したことで、野党候補の一本化への関心が浮上し始めた。安候補の支持率が15%の大台に乗った（後記）ことで、候補の一本化なくして政権交代を論じるのは難しいとの認識が野党内に広がっている。李氏は6日の議員総会で「2～3週以内に世論が候補の一本化の議論に火を付けるはずだが、一本化で必ず勝たなければならない」と述べた。安氏は同日、KBSニュースのインタビューで、野党候補の一本化に関して、世論調査のグラフを指しながら「（一本化は）必要ないという方もこれほど多い」と述べた。尹氏から会談の提案があればとの質問に「政治家同士が会おうといえば会うことはできる」とする一方、「そこで協議するかどうかは別の問題だ」と語り消極的な姿勢を示した。

世論調査会社の韓国ギャラップが7日に発表した大統領選候補の支持率は、李候補36%、尹候補26%。安候補の支持率は15%となり、同社の調査で最高を更新した。選挙法上、15%以上の得票率を獲得した候補は選挙費用が全額補てんされるため、支持率15%は候補が選挙を完走する可能性を測る重要な材料とされる。野党「正義党」のシム・サンジョン候補の支持率は5%。3週前の調査に比べると、尹氏は9ポイント下落した一方、安氏は10ポイント上昇した。国民の力の内紛が続く中、尹氏の支持が安氏に移ったとみられる。世代別の支持率では18～29歳で李氏（24%）、安氏（23%）、尹氏（10%）の順で高かった。若い世代が安氏の支持率を押し上げたとみられる。次期政権の国政課題としては経済回復・活性化、不動産問題解決（いずれも32%）、新型コロナウイルス対応（15%）、雇用（9%）などが優先課題としてあがった。政党支持率は共に民主党が34%、国民の力が29%、支持する政党がない無党派は24%。文在寅大統領の支持率は41%、不支持率は50%となった。調査は4～6日、全国の18歳以上の1002人を対象に実施された。

国民の力は20、30代の若い世代からの支持を得るために、議員経験のない36歳の李俊錫氏を党代表に据え、「ミスター検察」「正義の検察官」として名をはせたものの政治経験のない尹錫悦氏を大統領候補として迎え入れ、予備選挙を通じて党候補として確定した。ところが、李代表はリーダーシップを発揮するでもなく、また党内では代表をバックアップしようとの雰囲気もない。党内で自身が軽視されるなど不和や葛藤が生じたりするたびに、辞任を主張し姿を消すという事態を繰り返してきた。また尹候補は政治ビジョンの欠如と政策の不在に加えて、絶え間なく暴言と失言を発し、金鍾仁氏から

「決めたとおり演技だけすればよい」と露骨にくぎを刺されるほどであった。国民の力には、党の理念を重視し目標を実現できる適格な人物を立て、党全体でその人物を中心に団結し目標を達成しようとする公党としての基本的な姿勢がみられない。今回の同党の内紛の遠因はここにあり、起こるべくして起こったといわざるを得ない。また、これを機に選挙

体制の再建を早急に図ろうというよりは、すでに関心は安候補との野党候補一本化に向かっており、その態度も上から目線で真摯なものとはいえない。ましてや、国民の力と国民の党の統合交渉は早い時期に決裂しているのだ。国民の力のこの間の経緯は、守旧保守勢力の実態をまざまざと示すものとなった。

●大統領選挙動向 進歩陣営、候補一本化選出方式に合意できず…15日「民衆総決起」開催

民主労総と進歩5政党（正義党、進歩党、緑色党、労働党、社会変革労働者党）、ハン・サンギョン選挙運動本部で構成する進歩陣営の大統領選挙共同機構は候補の一本化に合意し、12月末までに予備選挙の方式を決定する予定であった。（2021年12月17日 情勢解説「民主労総と進歩政党、大統領候補一本化に合意」参照）選出方法については、労働者（民主労総組合員）と農民、女性、青年らを選挙人団とする直接投票方式に対し正義党は国民世論調査方式を主張、民主労総が直接投票と世論調査を7対3の比率で配合する折衷案も提示したが、合意できず一本化は霧散した。ところが、1月6日に正義党は「新しい時代を迎えようとする現場労働者の意思が反映される方案を策定しよう」と主張して、代表者による再協議を提案。代表者会議は7日に開かれたが、またも合意できず、9日の実務協議でも意見差異をうめられず、追加日程も決められないまま、一本化の協議は最終的に終結した。正

義党による7日の提案は一步前進したものだが、直接投票と世論調査を結合したものではなかったと伝えられている。

自主的民主政府の樹立を展望していくうえで、進歩陣営の団結、すなわち進歩大連合の構築は欠かせない重要な課題。そうした意味で、進歩陣営が大統領選挙に向けて共同機構を構成、共同政策を発表し共同行動を展開するだけでなく、候補の一本化にまで合意したことは、大きな期待を抱かせた。結果的に合意できなかったことは残念だが、大統領選挙にとどまらず、進歩勢力が粘り強く団結を強化していくことを期待したい。15日には「2022年、進歩勢力総団結の開始 2022民衆総決起」が開催されるとともに、「全国民衆行動」が正式発足する予定だ。共同闘争を通じて進歩大連合への道を進もう。

활동보고 活動報告

●「2022年大統領選挙 積弊精算貫徹！国家保安法廃止！平和・統一促進！韓統連全国代表者決意集会」を開催



力強くスローガンを叫ぶ参加者たち

在日韓国民民主統一連合（韓統連）は12月26日、名古屋市内で「2022年大統領選挙 積弊精算貫徹！国家保安法廃止！平和・統一促進！韓統連全国代表者決意集会」を開催した。

はじめに、宋世一委員長が主催者挨拶。「私達の運動目標は、自主・民主・統一の実現だ。今回の大統領選挙では、私達が目標とする自主的民主政権の

樹立を展望しながら、今どのような政権を誕生させなければいけないのかをしっかりと考えなければならない。決して守旧保守政権に逆戻りさせず、これまでの民主化・統一運動の過程の中で、新しい政権を誕生させていかなければならない。在外同胞が勝ち取った参政権を行使し、来る3月の大統領選挙において私達が念願する政権を誕生させ、自主的民主政府樹立への道を切り開いていこう」と訴えた。

続いて、地方本部、会員団体から意見表明が行われた。在日韓国青年同盟中央本部の韓成祐委員長は、先日決定した朴槿恵前大統領の赦免を「キャンドル革命への背信だ」と厳しく批判。積弊勢力を一掃し、国家保安法を廃止させるため、国内の青年たちとも強く連帯し闘っていきたい」と主張した。また、韓統連広島本部の尹康彦副代表委員は今回の大統領選挙について「祖国の未来を展望する重要な局面だ」と位置づけ、「次の大統領選挙では民主改革をすすめることができる政権を誕生させなければならない。分断で利益を得ることができる構造を変革させ、祖国統一を実現するため、統一と団結を高め

ていこう」と強調した。

続いて、決意文を金隆司副委員長が朗読。△積弊
精算を貫徹し、キャンドル革命の民意に応える次期
政権の誕生△国家保安法の廃止と、韓統連に対する
「反国家団体」規定の解除△南北合意履行による平
和・統一の実現を要求した。

最後に趙基峰副委員長が閉会挨拶。「今回の大統
領選挙では決して守旧保守勢力に政権を渡してはな
らない。統一と団結を強化し、これからも自主・民
主・統一運動に邁進していこう」と語った。

自主時報
統一ニュース

本集会は国内メディア「自主時報」「統一ニュース」に掲載されました

<http://www.jajusibo.com/58025>

<http://www.tongilnews.com/news/articleView.html?idxno=203975>

お知らせ

「北朝鮮」という呼称の見直しに関して

現在、日本ではほとんどすべてのメディアが「朝鮮民主主義人民共和国」の略称として「北朝鮮」を使用しています。欧米においても同様で「the Democratic People's Republic of Korea」の略称として「DPRK」と呼ぶべきですが「North Korea」と呼称している場合が多いようです。

これに対して当事者である朝鮮政府は、国連の場で公式に「北朝鮮」「North Korea」と呼ばずに「朝鮮」「DPRK」と呼ぶように主張しています。「北朝鮮」という呼称は、「大韓民国が朝鮮半島における唯一合法政府である」という国連決議に根拠を置いています。38度線以北にある政府は合法政府ではないという論理のもと、正式国名で呼ばずに「朝鮮半島の北部にある不法に政府を名乗っている集団」として「北朝鮮」と表現しているのです。当然、朝鮮政府はこれを認めていません。朝鮮では略称として「朝鮮」あるいは「共和国」を使用しています。

韓国社会では一般的に「北韓」と呼称されているので、韓統連ではその日本語訳として「北朝鮮」という呼称を使用してきましたが、今後は「朝鮮」と呼称することにします。

※第3者の発言として「北朝鮮」と言った（あるいは書いた）ことを引用する場合は、「北朝鮮（正しくは朝鮮）」と表記することにします。

행사예정 行事予定

1月

韓国大統領選挙を考える東海の集い(東海)

日時: 1月23日(日) 午前11時開始 場所: mg四日市4階

内容: 講演「韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢」、解説「候補者たちの素顔と選挙公約」、在日同胞の登録・投票案内

主催: 韓統連三重本部・韓統連愛知本部 連絡先: 080-3281-5413

※終了後、午後2時から成人祝賀会、新年会を開催 場所: カフェレストランLANA I

簡単ピザ作り会(大阪)

日時: 1月23日(日) 午前10時～午後2時 場所: 東成区民センター調理実習室

内容: ピザ手作り体験 参加費: 1,500円 持ち物: エプロン、ハンドタオル

主催: 韓統連大阪本部 連絡先: 090-3822-5723 (崔)

2月

2022年韓国大統領選挙を考える集い(大阪)

日時: 2月20日(日) 午後2時開始 場所: KCC会館

内容: 1部 情勢講演 2部 在日各界人士によるパネルディスカッション

参加費: 一般800円 青年学生 500円

主催: 韓統連大阪本部 連絡先: 06-6711-6377

※1月16日に予定していましたが「私はチョソンサラムです」上映会(広島)は新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み延期となりました。新しい日程が決まり次第、改めてご案内いたします。

いよいよ2022年、韓国大統領選挙の年が明けました。年末年始にかけて積弊勢力が紛糾し、醜態を晒しています。ですが、最後までなにが起きるかわからないのが韓国の大統領選挙。楽観せず引き続き広報活動を頑張っていきましょう。今年もよろしくお願いたします(李)